

様式 8

事業実績報告書

(団体名：おひさまキッチン)

事業名	おひさまキッチン（地域食堂）開設
実施した場所	新庄コミュニティーセンター・當麻文化会館
参加者・実施回数等	参加者：延べ人数 大人 303 人・子ども 246 人 スタッフ毎回 15 人から 20 人 実施回数：7 回（新庄 4 回・當麻 3 回）
実施した内容 （詳しく記入して下さい）	食事の提供：牛筋カレー 6 回（カレー、ポテトサラダ、旬のフルーツ） お楽しみ定食 1 回（おにぎり 2 種、トン汁、副菜） 食事後のお楽しみ会（子どもと地域のボランティアで遊ぶ） 7 月：七夕コンサート（尺八演奏、七夕飾り制作） 8 月：お話し配達（當麻おはなし会によるおはなし会） 9 月・10 月：タオルで犬づくり 11 月・12 月：映画鑑賞（ボランティアの方） 1 月：かるた大会（健康かるた） 2 月：新型コロナウイルス感染が危惧されるため中止 3 月： //
得られた効果	子どもにとって、学校でも家でもない第 3 の居場所づくりの一端を担うことができた。お年寄りにとっても日頃かかわることのない子どもとかかわることができた。
今後の展望	令和 2 年 4 月からは、新庄地区は偶数月・當麻地区は奇数月の第 3 土曜日に開設する。場所は中央公民館（新庄地区）・當麻文化会館（當麻地区）とする予定。 周知方法としては、各学校・学童保育所・市役所・ゆうあいステーション等にポスターの掲示をお願いする。 食材の調達については、野菜は今年度同様地域の方に無償または安価な価格で提供してもらおう。その他の食材についてもこの事業に賛同していただける方を開拓し、野菜同様提供してもらおう。 小学校区単位の顔の見える関係でのかかわり、子どもが一人でも参加できる敷居の低いところで多くの子どもとのつながりが

	できる地域食堂にしていく。 高齢者の方にも食事をするだけでなく、ボランティアとして参加してもらい、子どもと関わりつながりを作っていく。
事業を実施してみた感想など	7月に初めて開設したときは、イベント感覚で150人近くの参加者があり右往左往した。8月も當麻で初めてのこともあり多くの方の参加があった。9月以降は新庄地区では10から15人程度しか参加がない。場所的なこともあるのだろうか。當麻は文化会館なので来やすいのか40人から50人の参加があった。 周知の仕方がまずかったのか、葛城市の特性なのか分からないが真に必要としている子どもや高齢者の利用が少なかった。 小学校の先生も毎回参加してくださり、子どもたちと一緒に食事や制作をして様子を観察していただけた。また私たちもお話しができよかったです。 市長や教育長も毎回参加してくださり、関心を持っていただいていること感謝しています。 大字新庄の区長さんや住民の方の好意によりコミュニティーセンターを無償でお借りでき大変助かりました。 子ども食堂（地域食堂）は貧困対策と誤解されている方がまだまだ多いように思われる。人と人のつながりを作る場であることを周知する必要がある。 事業を継続するには、スタッフ・場所・食材の確保・資金がなければできません。この事業に賛同し、食材の提供をしていただける方を増やします。

※この様式に記載しきれない場合は、別紙にて報告資料を提出いただいても構いません。

様式9

事業収支決算書

(団体名： おひさまキッチン)

<令和元年度 収入の部>

(単位：円)

収入の種類	決算額	積算内容（詳しく記入して下さい）
市補助金 参加負担金	169,767 97,100	市民活動支援事業補助金 大人@300 円 97,100 円
収入合計	266,867	

<令和元年度 支出の部>

項 目	決算額	支出内容（詳しく記入して下さい）
補 助 対 象 経 費	消費品費 24,371 印刷製本費 17,856 賄い材料費 180,963 保険料 18,480 通信運搬費 25,197	手袋・キッチンペーパー・除菌用アルコール ハンドソープ・配膳用トレイ等 周知用チラシ・ポスター印刷 カレー用筋肉等材料・果物・豚汁材料 傷害保険料（ボランティア行事用保険） @28 円 延べ 660 人分 電話代
補 助 対 象 外 経 費		
支出合計	266,867	

※ この様式内に記載しきれない場合は、別紙資料を添付して下さい。